

令和7年度紙製容器包装品質調査概要

1. 調査の概要

(1)調査期間：令和7年4月～10月

(期間内に引き取れなかった分については令和8年3月末まで)

(2)調査場所:再生処理事業者工場内

(3)調査方法および評価「紙製容器包装引き取り品の評価方法」による。

なお、引き取りの多い市町村・一部事務組合のペールや保管施設を兼ねる事業者での品質調査については一部当協会も立ち会って評価を行った。

(4)調査対象保管施設数および構成市町村数、実施保管施設数および構成市町村数

調査対象保管施設数=105

調査実施保管施設数=105

未実施保管施設数=0

調査実施率=100%

2. 評価結果

ランク	保管施設数	比率
A	105	100%
B	0	0%
D	0	0%
計	105	100%

3. Dランクの内容分析(0点評価比率)

Dランク評価:なし

4. 個別評価での5点未満(0点および3点の評価比率)

① 濡れた状態のものの混入	...	0/105	—
② 未破袋品混入	...	0/105	—
③ 結束された紙袋に入った状態での混入	...	4/105	4%
④ 外観で段ボールの混入が目立つ	...	14/105	13%
⑤ 食品残渣の付着した汚れ品の混入	...	0/105	—
⑥ 対象外の紙の混入	...	1/105	1%

⑦ 紙以外の異物混入	・・・	4/105	4%
⑧ 危険物・衛生問題品の混入	・・・	0/105	—
⑨ 引き取り形態の違い	・・・	0/105	—

個別評価で5点未満の件数は、令和6年度の30件から23件へ減少しました。

5. 令和8年度に向けて

令和7年度の調査では、Aランク105件となりました。(R6年度はBランク0件、Dランク1件)

令和8年度は、引き続きDランク保管施設数ゼロに加えて、全保管施設Aランクを目標として掲げています。

引き続き住民の方々への啓発ならびに中間処理段階での選別の強化による品質向上にご協力をお願い申し上げます。